

第 1984 圖



みやまはんのき

Alnus Maximowiczii Call.

(=A. viridis DC. var. sibirica Regel, partim.) 高山ニ生ジ下部ヨリ分枝セル落葉灌木ナリト雖ドモ溪間或ハ北部ノ低地ニ在テハ高サ10m、徑30cm許ニ達スル喬ナト成ル。葉ハ互生シテ葉柄ヲ有シ、橢圓形或ハ卵圓形ニシテ鋭尖頭、底部圓形又ハ略ボ心臟形ヲ成シ、葉縁ニ細密ナル重鋸齒ヲ具ヘ、長サ5-10cm許、質稍厚ク表面滑澤深綠色、裏面ハ粘性ニシテ嫩葉ハ殊ニ然リ。雌雄同株ニシテ五六月ノ候ニ開花ス。雄花ノ葉莖穂ハ小枝ノ先端ニ生ジテ黃褐色ノ圓柱形ヲ成シ長サ6cmアリテ黃花粉ヲ糝出ス。雄花ハ五萼片、五雄蕊ヲ有ス。雌花穂モ亦小枝ニ出デ橢圓形ニシテ數花穂總狀ニ排列ス。雌花ハ一子房アリテ二花柱ヲ有ス。果穂ハ橢圓形ニシテ長サ1.5cm内外、果鱗ハ楔形ヲ呈シ、小堅果ハ倒卵形ニシテ膜質ノ翅ヲ有ス。和名ハ深山はんの木ノ意ニシテ深山ニ生ズルヨリ云フ。

第 1985 圖



やはすはんのき

一名 はくさんはんのき

Alnus Matsumurae Call.

(=A. incana Willd. var. emarginata Matsum.; A. emarginata Shirai.) 中部ノ深山ニ生ズル落葉小喬木。幹ハ直立シテ分枝シ高サ10m内外。樹性やまはんのきニ類シ、樹皮ハ灰黒色ヲ呈ス。葉ハ有柄互生、圓形或ハ倒卵圓形、長サ5-9cm、先端ハ凹頭ヲ成シ底部ハ廣楔形或ハ鈍形、邊緣ニハ不齊ノ低鋸齒ヲ具ヘ、表面深綠色無毛平滑、裏面ハ灰白色ヲ帶ビ支脈七乃至九條アリテ斜ニ平行シ鮮明ナリ。雌雄同株。四五月葉ニ先ダツテ開花シ、小枝ノ葉腋ヨリ雄性ノ葉莖花序ヲ垂レ黃色ノ雄花ヲ着ク。雌花穂ハ三四、枝端ニ短總狀ヲ成ス。果穂ハ橢圓形長サ2cm、短柄ヲ具ヘテ立ち肥厚セル果鱗ハ扇形楔脚ニシテ密ニ鱗次シ、晩秋熟テ褐色ト成ルモ遂ニ脱落スルコトナシ。小堅果ニハ極メテ狭キ翼アリ。和名矢筈はんの木ハ葉先ノ形狀ニ基ツキ、白山はんの木ハ加賀白山ニ多クレバ云フ。

第 1986 圖



やしゃぶし

一名 みねばり

Alnus firma Sieb. et Zucc.

(=A. yasha Matsum.)

諸州ノ山中ニ生ズル落葉喬木ニシテ幹ハ直立分枝シ高サ7m、徑30cm許ニ達ス。葉ハ互生シ葉柄ヲ有シ、卵狀披針形或ハ長橢圓狀披針形ニシテ鋭尖頭ヲ成シ底部圓形又ハ廣楔形ヲ呈シ邊緣ニ不齊ノ重鋸齒アリ、初メ上面ニ毛ヲ有スルモ後略ボ平滑ト成リ、裏面脈上ニノミ毛ヲ常存シ、支脈ハ顯著ニシテ十乃至十五對アリ斜ニ平行シテ葉縁ニ達セリ。雌雄同株ニシテ三月開花ス。雄花ノ葉莖穂ハ小枝ノ頂ヨリ出デテ下垂シ無柄ニシテ黃褐色ノ圓柱形ヲ成シ密ニ小花ヲ着ケ夥シク黃色ノ花粉ヲ吐出ス。雌花穂ハ有柄ニシテ雄花穂ヨリハ下方ノ小枝ニ頂生シ紅色ニシテ長橢圓形ヲ呈シ概ネ二三穗ヲ以テ總狀ヲ成ス。雄花ハ苞鱗内ニ三アリテ萼ハ五裂シ五雄蕊アリ。雌花ハ苞鱗内ニ二アリテ各二花柱アリ。果穂ハ橢圓形ニシテ長サ2cm内外、小堅果ハ長橢圓形ニシテ狭翼ヲ有ス。果穂ヲ染料トス。和名ハ夜叉五倍子ノ意、此果穂ニ單葉分多ク五倍子即チふヒト同様ナレバふヒト云ヒ夜叉ハ其果穂粗面ナルヨリ云フ、峰ばりハ山上ニ生ズルはりの木ノ意ナリ。

ひめやしあぶし

一名 はげしばり

Alnus multinervis Call.

(=A. firma Sieb. et Zucc. var. multinervis Regel; A. pendula Matsum.)

山地ニ生ズル多枝多葉ノ落葉灌木ニシテ住々山地ノ土砂崩潰ヲ防ガシ爲メ栽植セラレ、其大ナル者ハ高サ6m 徑30cmニ達シ枝條ハ細長ナリ。葉ハ互生シテ葉柄ヲ有シ、卵狀長橢圓形或ハ長橢圓狀披針形ニシテ鋭尖頭、下部ハ概ネ廣楔形ヲ成シテ鈍底ヲ有シ、邊緣ニ重複セル細鋸齒ヲ具ヘ、裏面脈上ノ毛、支脈ハ十六乃至二十六對アリ斜ニ平行シテ葉縁ニ達シ顯著ナリ。雌雄同株。四月、葉ニ先ダツテ開花ス。雄花ノ葉莖穂ハ前年ノ秋既ニ生ジ枝端ヨリ下垂シテ黃褐色ヲ呈シ有梗ニシテ長サ4.5cm 許、雌花穂ハ有梗ニシテ長橢圓形ヲ呈シ小形綠色、三乃至六箇ヲ以テ上向セル總狀ヲ成ス。雄花ハ苞鱗内ニ在リテ萼ハ四裂シ四雄蕊アリ。雌花ハ苞鱗内ニ二アリテ各二花柱ヲ有ス。果穂ハ橢圓形ニシテ長サ1cm 餘、細長ナル柄ヲ有シ總狀果穂ヲ成シテ下垂スル殊態アリ、小堅果ハ長橢圓形ニシテ翅ヲ有ス。和名ハ姫夜叉ぶしニシテ此類中ノ小形ナルヲ表ハセシムルヲ以テ斯ク云フ。

しらかんば

一名 しらかば・かば・かんば・

かばのき・くさざくら

古名 かにば

Betula Tauschii Koidz.

(=B. alba L. var. Tauschii DC.; B. japonica Sieb.; B. alba L. var. japonica Miq.)

我邦中部北深山ノ向陽地ヲ好ンデ生ズル落葉喬木。幹ハ直登シテ多枝葉繁、其大ナル者ハ高サ20m、徑60cm 餘、樹皮ハ白色ニシテ紙狀ニ剝ゲ、内皮ハ淡褐色ヲ呈シ、皮目ハ横線形ヲ成ス。葉ハ互生シ短枝ニハ二葉ヲ着ケテ葉柄ヲ有シ、三角狀卵形或ハ菱狀卵形ニシテ先端鋭尖頭、底部廣楔形又ハ截形ヲ成シ、邊緣ニ不齊ノ重鋸齒ヲ有シ、長サ4-8cm 許、支脈ハ概ネ六乃至八對、下面ハ淡色ニシテ小腺點ヲ有シ且脈腋ニ毛ヲ有ス。雌雄同株。四月ノ候葉ニ先ダツテ開花ス。雄花ノ葉莖穂ハ小枝端ヨリ下垂シ細花ヲ密着シテ長キ圓錐狀ヲ成シ暗紅黄色ヲ呈シ、各苞鱗内ニ三箇ノ雄花ヲ有シ、二小苞アリ。雌花ハ三裂セル一萼片、二雄蕊アリ。雌花穂ハ短枝上ニ頂生シテ上向シ紅褐色ヲ呈シ、每苞鱗内ニ三花ヲ着ケ、二小苞アリ。雌花ハ萼ヲ缺キ、一子房、二花柱アリ。果穂ハ長サ3-5cm 許ノ圓柱形ヲ成シテ下垂シ、果鱗ハ三裂シ、側片ハ圓ク開出シ、小堅果ハ長橢圓形ニシテ左右ニ膜質ノ廣翼アリ。和名かんばハ古名ノかにはヨリ轉來シ、かばハ其略ナリ、往時ハ多分此類常品ノ通名ナリシナラン、白かんば、白かんばハ其樹皮白色ナルヲ以テ云フ、臭ざくらハ此樹皮ヲ燒ケバ臭氣ヲ放ツ故云フ。漢名 樺木(誤用)、樺木ハBetula 屬ノ一種ナレド別種ニ屬シ支那産ナリ。

だけかんば

一名 さうしかんば

Betula Ermani Cham.

var. communis Koidz.

高山及ビ北地ニ普通ナル落葉喬木。幹ハ直立シテ分枝シ其大ナル者ハ高サ14m、徑60cm 許、樹皮ハ灰白色又ハ淡褐色ヲ帶ビ紙狀ニ剝ゲ、小枝ハ細長ナリ。葉ハ葉柄ヲ具ヘ、長枝ニハ互生シ短枝ニハ二葉ヲ着ケ、三角狀卵形或ハ廣楔形ニシテ鋭尖頭、底部圓形又ハ稍心臟形ヲ成シ、邊緣ニ不齊ノ重鋸齒アリ、支脈ハ八乃至十一對、兩面無毛或ハ裏面脈上及ビ脈腋ニ毛ヲ有シ、下面ニ小腺點アリ。雌雄同株ニシテ五月開花ス。雄花ノ葉莖穂ハ枝ノ先端ヨリ下垂シ、長サ8cm 許ニシテ黃褐色ヲ呈ス。雄花ハ三萼片、三雄蕊ヲ有ス。雌花穂ハ短枝ノ先端ニ頂生シテ直立シ長サ2cm 許。雌花ハ一子房、二花柱アリ。果穂ハ短柄ヲ有シテ直立シ長橢圓形ニシテ長サ3cm 許、果鱗ハ三裂シ、側片ハ短ク、小堅果ハ倒卵形ニシテ兩側ニ狭翅ヲ具フ。和名嶽かんばハ山嶺上ニ生ズルヨリ云フ、草紙かんばハ其皮ニ字ヲ書キ得ベキヨリ此ク稱ス。

第 1987 圖



第 1988 圖



第 1989 圖

